

# 令和5年度 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 成果報告会

開催日 令和6年3月8日(金) 13:15~17:15

会場 オンライン形式

## プログラムのご案内

13:15	開会・挨拶 鈴木 顕(文部科学省 研究開発局原子力課 放射性廃棄物企画室長) 山名 元(原子力損害賠償・廃炉等支援機構 理事長/本事業プログラムディレクター)
13:25	英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業について 岡本 孝司(日本原子力研究開発機構福島研究開発部門福島研究開発拠点 廃炉環境国際共同研究センター センター長)
13:40	【パネルディスカッション1】 テーマ: モニタリング技術 ・研究紹介(5分×3 課題=15分) ・研究代表者とニーズ側関係者(※)との総合討論(20分) ・参加者との質疑応答(5分)
14:20	休憩(5分)
14:25	終了課題及び実施課題の研究内容に関するQA(公開動画への質問等)
15:15	休憩(5分)
15:20	【パネルディスカッション2】 テーマ: 人材育成 ・研究紹介(5分×3 課題=15分) ・研究代表者とニーズ側関係者(※)との総合討論(20分) ・参加者との質疑応答(5分)
16:00	休憩(5分)
16:05	【パネルディスカッション3】 テーマ: 性状把握と廃棄物処分 ・研究紹介(5分×3 課題=15分) ・研究代表者とニーズ側関係者(※)との総合討論(20分) ・参加者との質疑応答(5分)
16:45	全体討論
17:10	閉会挨拶

※東京電力HD、JAEAを予定

〔パネルディスカッション対象課題〕

【1】テーマ：モニタリング技術

課題名	研究代表（所属機関）
連携計測による線源探査ロボットシステムの開発研究	人見 啓太郎（東北大学）
建屋応答モニタリングと損傷イメージング技術を活用したハイブリッド型の原子炉建屋長期健全性評価法の開発研究	前田 匡樹（東北大学）
中赤外レーザー分光によるトリチウム水連続モニタリング手法の開発	安原 亮（核融合科学研究所）

【2】テーマ：人材育成

課題名	研究代表（所属機関）
燃料デブリ取り出し時における炉内状況把握のための遠隔技術に関する研究人材育成	浅間 一（東京大学）
化学計測技術とインフォマティクスを融合したデブリ性状把握手法の開発とティアップ型人材育成	高貝 慶隆（福島大学）
燃料デブリ分析のための超微量分析技術の開発	永井 康介（東北大学）

【3】テーマ：性状把握と廃棄物処分

課題名	研究代表（所属機関）
ジオポリマー等による PCV 下部の止水・補修及び安定化に関する研究	鈴木 俊一（東京大学）
福島原子力発電所事故由来の難固定核種の新規ハイブリッド固化への挑戦と合理的な処分概念の構築・安全評価	中瀬 正彦（東京工業大学）
世界初の同位体分析装置による少量燃料デブリの性状把握分析手法の確立	坂本 哲夫（工学院大学）